

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2013-34430(P2013-34430A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-173034(P2011-173034)

【国際特許分類】

A 01 G 1/00 (2006.01)

A 01 G 9/02 (2006.01)

【F I】

A 01 G 1/00 301H

A 01 G 1/00 301Z

A 01 G 1/00 303Z

A 01 G 9/02 103E

A 01 G 9/02 103W

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

断面略逆V字状に形成された固形培地が栽培ベッド上に長手方向に配置された果菜類栽培装置。

【請求項2】

対となる略板状の固形培地用部材を切妻屋根形状に配設することにより、前記断面略逆V字状の固形培地が形成された請求項1記載の果菜類栽培装置。

【請求項3】

前記栽培ベッド上に長手方向の排水用溝が設けられた請求項1又は請求項2記載の果菜類栽培装置。

【請求項4】

長手方向に延設され、前記固形培地に上方から灌水する灌水手段と、

前記固形培地の頂部及びその近傍を被覆する浸水性シート部材と、を備えた請求項1～3のいずれか一項記載の果菜類栽培装置。

【請求項5】

前記栽培ベッドと前記固形培地と間に形成された内空部に、温度調節用の空気供給管が設置された請求項1～4のいずれか一項記載の果菜類栽培装置。

【請求項6】

前記断面略V字状に形成された固形培地の内角が略90度である請求項1～5のいずれか一項記載の果菜類栽培装置。

【請求項7】

前記固形培地が、バーミキュライトを膨積させて成形することにより形成されたものである請求項1～6のいずれか一項記載の果菜類栽培装置。

【請求項8】

断面略逆V字状に形成された固形培地を栽培ベッド上に長手方向に配置し、該固形培地

上で果菜類の栽培を行う果菜類栽培方法。